



# 新NACSIS-CAT/ILLの変更点 および移行について



国立情報学研究所  
学術基盤推進部 学術コンテンツ課学術コンテンツ整備チーム

村上 遥

## 検討の経緯と移行方針

## 新NACSIS-CAT/ILLのおもな変更点

## 移行によるシステム停止



情報犬 ビットくん

## 学術情報を取り巻く環境の変化

電子ジャーナルをはじめとした電子情報資源の普及による資料の流通・管理のあり方の変貌、研究者、学生の情報利用や研究・教育のプロセスが電子的手段を前提とするものになっていることへの対応

## これからの学術情報システム構築検討委員会の検討

電子情報資源・印刷体を区別することなく統合的に発見でき、最終的に必要とする学術情報にアクセスできる、国レベル及び各図書館レベルの環境（**統合的発見環境**）の構築に向けた検討

国レベルで整備する中央システムと各機関が運用する図書館システムが相互に連携し、電子情報資源・印刷体それぞれの管理・運用に必要なデータを統合的に利用可能とするシステム環境（つまり、現在の目録所在情報サービスの枠組みを拡張した新たな図書館システム・ネットワーク）の構築が必要となることを確認した。

<中略>

その整備にあたっては、従来のNACISIS-CAT/ILLが提供する印刷体を中心とした書誌情報の供給及び資源共有の機能を維持しつつ、各機関がより豊かな機能（電子情報資源のワークフローをサポートする機能や、電子情報資源と印刷体のワークフローが一体となったシステム、電子情報資源も含めたILL機能等）を選択的に導入できるシステム構築を目指すことが確認された。

[https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2021-02/korekara\\_doc20190215\\_0.pdf](https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2021-02/korekara_doc20190215_0.pdf)

## 大学図書館向け学術情報システムを36年ぶりに一新 学術資料のデジタル化に対応した目録所在情報サービスを2022年から順次 運用開始

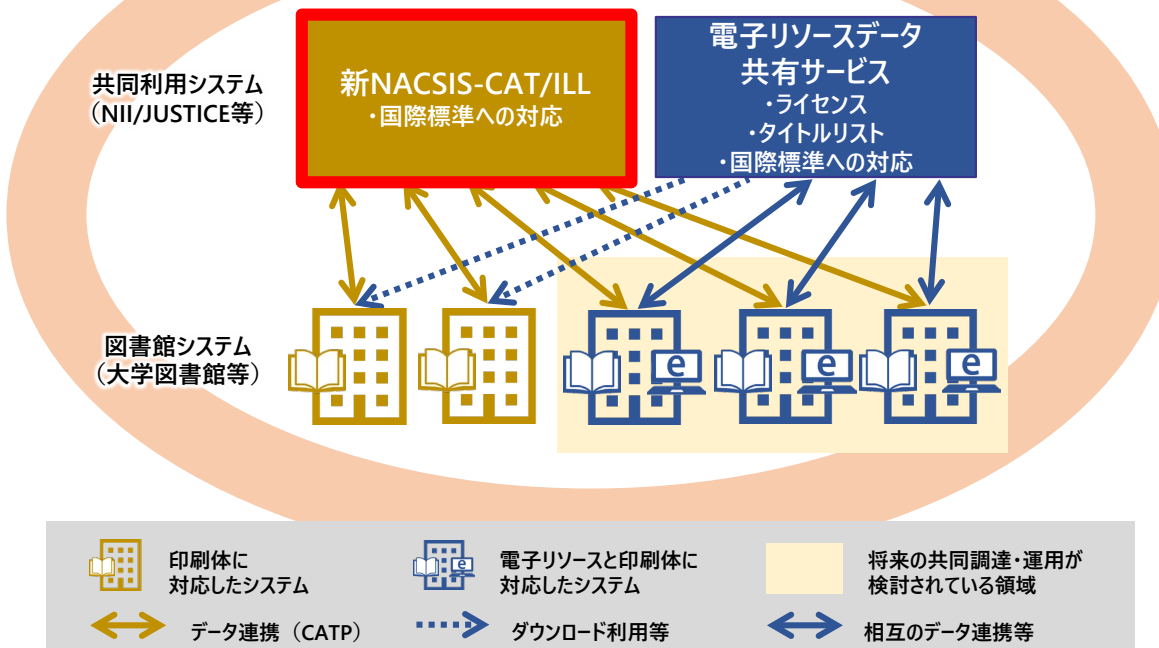
- ・ 国際標準を基本としたパッケージシステム
- ・ 新NACSIS-CAT/ILLでは、メタデータの高度化に向けて、RDA（Resource Description and Access）、日本目録規則 2018 年版のほか、米国議会図書館が主導する新たなメタデータスキーマであるBIBFRAME等の新たな国際標準への対応を可能にします。
- ・ 現在のNACSIS-CAT/ILLの機能は当面維持し、参加する約1,300機関が利用する図書館システムとの接続の継続性を確保します。

### 利用するシステム

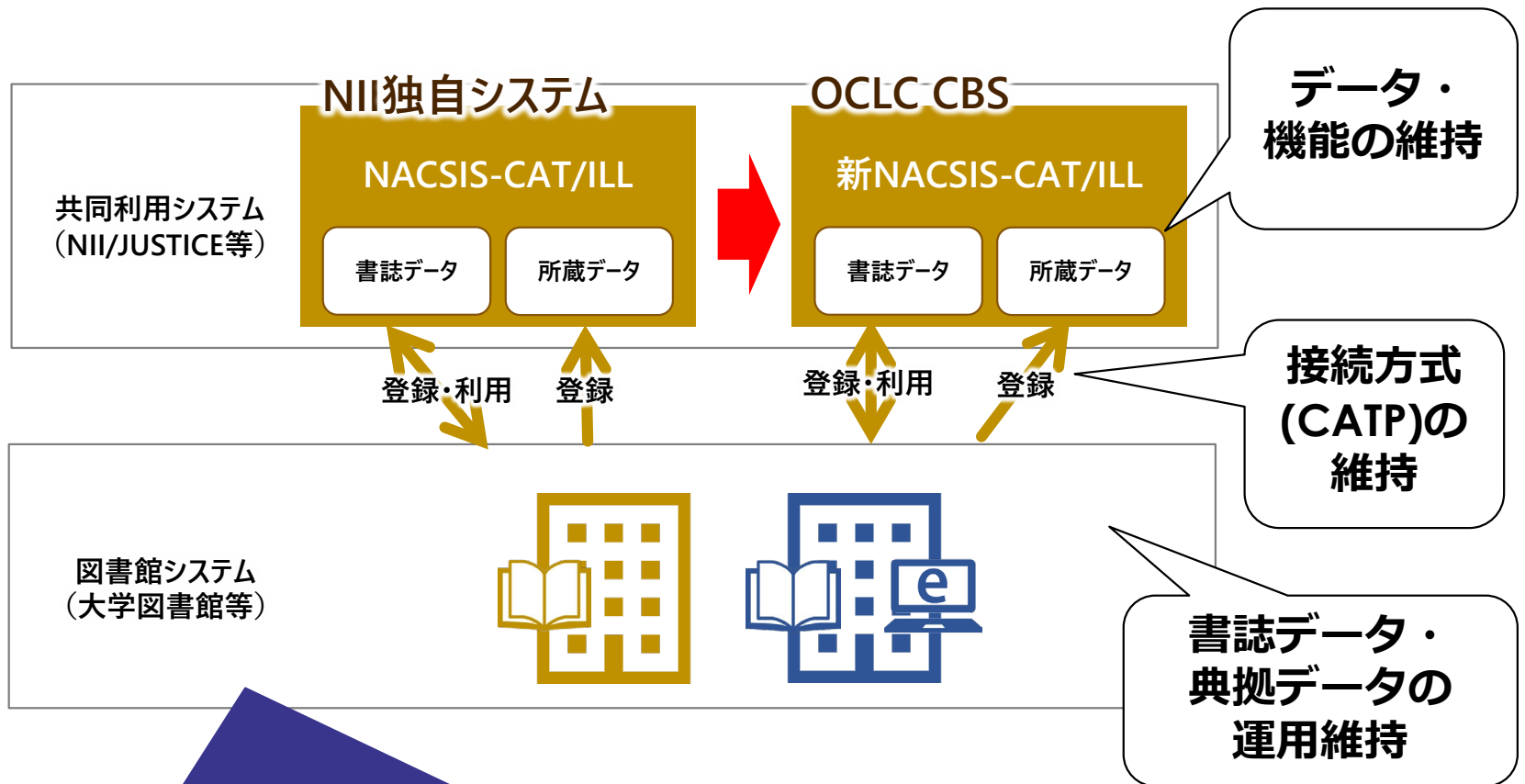
- ・ 新NACSIS-CAT/ILLの基盤システムは、アメリカを本拠地とするOCLCのCBS（Controlled Bibliographic Service）を利用。
- ・ 図書館間相互貸借（ILL）サービスは株式会社シー・エム・エスが構築し、CBSとのシームレスな連携を行います。

<https://www.nii.ac.jp/news/release/2021/0617.html>

## 図書館システム・ネットワーク（大学等）



<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw>



図書館システム側の変更は伴いません

検討の経緯と移行方針

新NACSIS-CAT/ILLのおもな変更点

移行によるシステム停止



情報犬 ビットくん

## 新NACSYS-CAT/ILL

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill>



## 変更点（クライアントのためのガイドライン案）

[https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/client\\_guidelines](https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/client_guidelines)



## 参加館テスト

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/library-test>



## システム停止期間

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/system-migration>





「2022年度リプレイスに向けた「新NACSIS-CAT/ILL」の変更点（2022年6月末時点）」  
[https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-07/nacsis-cat\\_change\\_2023\\_20220715.pdf](https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-07/nacsis-cat_change_2023_20220715.pdf)

- **CATP/1.1スキーマバージョン1以前のサポート内容変更**
  - CATP1.1 スキーマバージョン2のサポートを中心とし、より古いバージョン（CATP1.0、CATP1.1 スキーマバージョン1）へのサポート内容を以下の通り変更します。
    - 検索以外のすべての操作がエラーとなる
    - 検索した場合に上位のスキーマバージョンの値も返戻される
- **新規書誌IDのプリフィックス変更（既存はそのまま）**
  - 図書：BA → BB → BC (CAT2020) → BD (新CAT)
  - 雑誌：AN → AA → AB (新CAT)
- **エンコーディングをUTF8・UTF8Eに統一**
- **「SEARCH」メソッドの制約追加**
  - Database nameの指定において、CATのデータセットとILLのデータセットの混在が不可に

- 「Z39.50クライアント機能」のデータベース追加・変更
  - ドイツ HBZからGBV (K10plus) へ変更

2022年10月31日 (月) に仕様公開 (予定)
- Z39.50ゲートウェイ機能のSRUゲートウェイ機能への変更

2022年10月31日 (月) からテスト機関の受付開始 (予定)

<今後、「変更点」に追加予定>

- 「Z39.50クライアント機能」のデータベース追加・変更
  - フランス BnFに加えsudocを追加 ( 2022年10月31日 (月) に仕様公開 (予定) )
- 空更新時に、現行システムでは、RNWDT・RNWFAを変更していましたが、次期システムでは変更しません。
- RECONのCRTDTと RNWDTに表示される値が「19700101」の固定値になります。
- 新システムのインデックス仕様変更により、現行システムと検索結果が異なる可能性があります。

## <変更なし>

- 運用方針（書誌構造リンク、並立書誌等）
- PREBOOK（JPMARC、TRCMARC、USMARC、USMARCX、UKMARC、GPOMARCのうち、ISBNが記入されている書誌データ）

## <変更>

### • RELATIONの提供様式の変更

- 新NACSIS-CATでは、登録された書誌データに対し、より高頻度でのクラスター化作業を行い、RELATION機能を向上します。高頻度のクラスター化作業に対応するため、新NACSIS-CATでは、**グループID（FID）**が一意ではなくなります。

※RELATIONの検索方法には①仮想検索（BOOKの「\_ID\_」、BHOLDの「\_BID\_」）と、②RELATIONデータセット自体の検索を行う2つの方法がありますが、①の場合は、本変更の影響を受けません。

#### RELATIONリストの例

[https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/od/relation\\_list.xlsx](https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/od/relation_list.xlsx)

FID	NCID1	NCID2	NCID3
R0000001	BB25817259	BC0138577X	

## <調整中>

- システム追記、重複書誌自動統合機能、自動リンク、RELATIONの報告

**2022年10月31日（月）テスト機関申し込み開始 [予定]****NACISIS-CAT SRUゲートウェイサーバ機能テスト**

外部機関からSRUプロトコルを介して総合目録データベースの検索利用を可能とするための機能で、Z39.50ゲートウェイサーバの後継規格です。

国立情報学研究所は、2002年3月からZ39.50ゲートウェイサーバを提供してきました。このZ39.50ゲートウェイサーバの運用を2022年12月31日で停止し、2023年1月31日よりその後継規格となる、Search/Retrieval via URL(SRU)サーバを提供します。

2022年10月31日（月）よりSRUゲートウェイサーバ機能のベンダー・参加館テストを開始します。

テストでは、お申込者へSRUゲートウェイサーバのテスト環境への接続先をお知らせしますので、SRUプロトコルを介した総合目録データベースの検索利用についてお使いのクライアントから検証いただくことが可能となります。

\*利用に当たってはSRUに対応する機能をもったクライアントが必要です。

利用希望機関は[申込フォーム](#)で御連絡下さい。

テストのフィードバックにつきましては、[フィードバックフォーム](#)よりお知らせください。

SRU (Search/Retrieve via URL) は、「Z39.50ゲートウェイサーバ (Z39.50ゲートウェイ機能)」の、後継規格です。

\*SRUに関する説明は以下をご参照ください：

<https://www.loc.gov/standards/sru/>

検討の経緯と移行方針

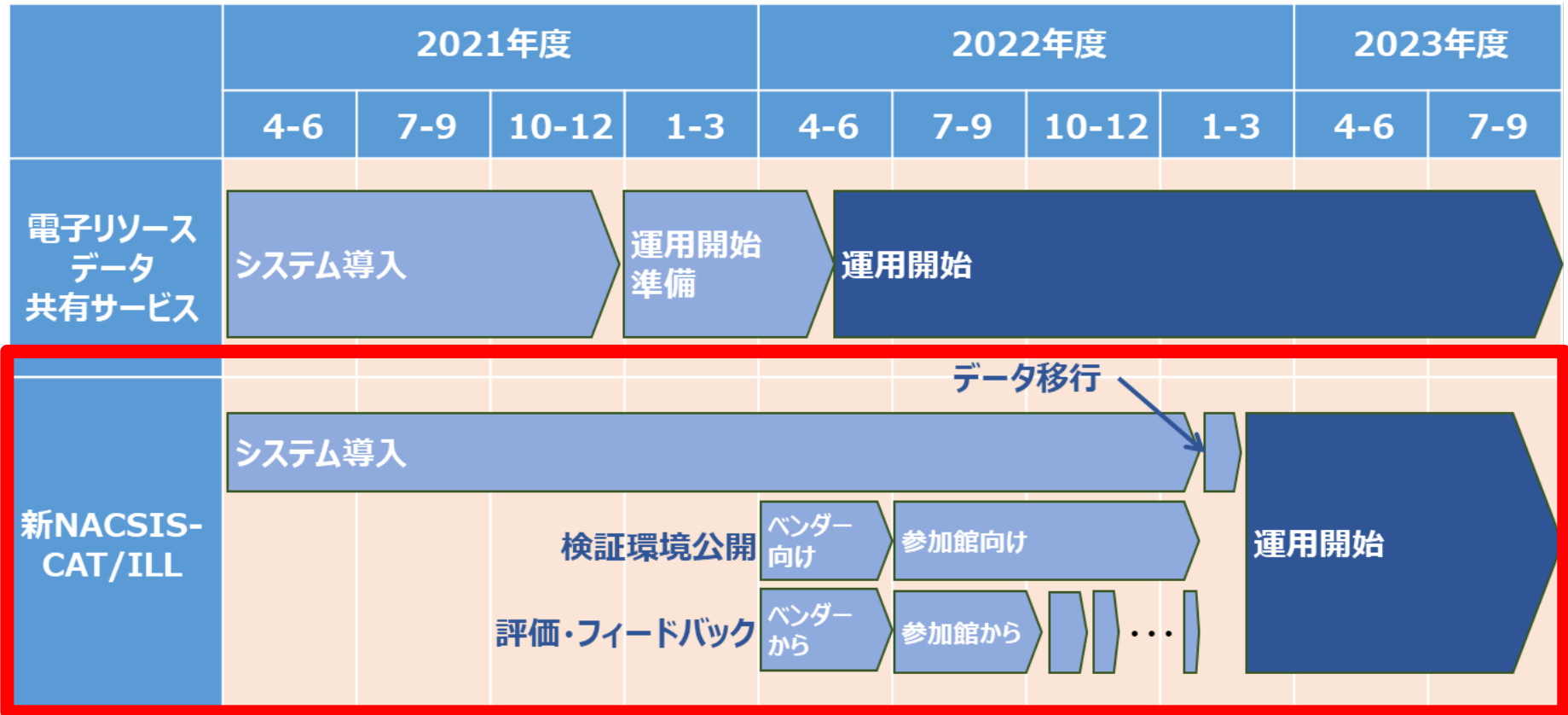
新NACSIS-CAT/ILLのおもな変更点

移行によるシステム停止

情報犬 ビットくん



# 新NACSIS-CAT/ILL移行（スケジュール）



2022年4月25日（月）～7月29日（金）

ベンダーテスト [終了・残件対応中]

2022年8月29日（月）～10月31日（月）

参加館テスト [実施中※10月27日時点]

テストにご協力くださり、誠にありがとうございます。

## 参加館テスト

### 参加館テスト

2022年8月29日（月）から、新NACSIS-CAT/ILLの参加機関ご担当者によるテスト用環境の運用を開始します。

#### テスト運用期間

2022年8月29日（月）～2022年10月31日（月）（予定）  
（運用時間：平日9:00-17:00）

※データは2021年4月1日時点

※ILLは教育モードとなります

新NACSIS-CAT/ILLの開発状況については、「新NACSIS-CAT/ILL対応版 WebUIP」でご確認いただくことができます。

<https://webuiip2022.nii.ac.jp/webuiip/wu-login-cbs.html>

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/library-test>

## 業務用サーバ

システム名	停止期間 (日本標準時 (JST) による)
NACSIS-CAT	2023年1月10日 (火) 0:00 ~ 1月31日 (火) 9:00
NACSIS-ILL	2023年1月23日 (月) 0:00 ~ 1月31日 (火) 9:00

**2023年1月10日 (火) 0:00から1月23日 (月) 0:00までの期間は、BOOK、RECON、PREBOOK、BHOLD、SERIAL、SHOLD、NAME、TITLE、MEMBERおよび参照データセットに対して、作成・修正・削除 (INSERT、UPDATE、DELETEメソッド) ができません。ただし、検索・表示 (SEARCH、SCAN、RETRIEVE、INDEXLISTメソッド) は、ご利用可能です。**

**2023年1月23日 (月) 0:00 から 1月31日 (火) 9:00までの期間は、検索・表示 (SEARCH、SCAN、RETRIEVE、INDEXLISTメソッド) も含め、ご利用いただくことができませんのでご注意ください。**

**使用不可のメソッドでリクエストを行った場合、エラーが返却されます。**

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/system-migration>



<表：システム名/メソッド毎の停止時間>

	1/10 (火) 0:00~ 1/23 (月) 0:00	1/23 (月) 0:00~ 1/31 (火) 9:00	1/31 (火) 9:00~
NACSIS-CAT  メソッド: INSERT , UPDATE , DELETE	利用不可	利用不可	利用可能
NACSIS-CAT  メソッド: SEARCH , SCAN , RETRIEVE, INDEXLIST	利用可能	利用不可	利用可能
NACSIS-ILL  メソッド: 全て	利用可能	利用不可	利用可能

本スケジュールは、移行リハーサルでデータ全件の移行を試行した結果に基づき調整しているため、これ以上の短縮は難しい状況です。

データを安全に移行するため、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご不便をおかけし、誠に申し訳ございません。

検索・表示のみ利用可能な期間（2023年1月10日（火）0:00から1月23日（月）0:00まで）は、ローカルシステム内で書誌データを作成いただき、システム再開後にNACSIS-CATへ反映いただく等の運用が可能となりますので、お役立ていただければと存じます。

NACSIS-ILL停止期間中のILLについては、CiNii Books (<https://ci.nii.ac.jp/books/>) で書誌・所蔵・参加館データをご覧いただくことができますので、**NACSIS-ILLを通さず、直接メールやFAX等で対象館へお申込みいただく**等のご検討をお願いいたします。

※CiNii Booksのデータは移行開始時（2023年1月10日0:00より前）となりますので、タイムラグがある点をご了承ください。

### [受付館のみなさまへ]

ILLの停止期間中は、上記のILL直接依頼につきましてもご対応いただきますよう、何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 教育用サーバ、テスト用サーバ

システム停止は予定しておりません。

## 検索専用サーバ

調整中です。

## オプションサービス (個別版、所蔵レコードの一括更新等) [予定]

内容	停止期間
CAT自動登録/夜間サーバ	2023年1月10日 (火) 0:00 ~2023年3月31日 (金) 時間未定
漢字統合インデクス	なし
WebUIP	2023年1月23日 (月) 0:00 ~2023年1月31日 (火) 9:00
個別版サービス	2023年1月10日 (火) 0:00 ~2023年3月31日 (金) 時間未定
所蔵レコードの一括更新	2023年1月10日 (火) 0:00 ~調整中

「Z39.50ゲートウェイサーバ」は、2023年1月23日 (月) 0:00[予定]をもって廃止します。

後継規格である、「SRUゲートウェイサーバ」は2023年1月31日 (火) より提供を開始します。



事業について

申請

マニュアル

研修

統計

ツール

プロジェクト・参考

## 目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）について

目録所在情報サービスは、参加する図書館が所蔵する資料の書誌情報と所在情報をオンラインでデータベース化し、所在情報データベースを利用して、それぞれの図書館が自館で所蔵していない資料を相互に提供する「図書館間相互協力」を迅速に実施しています。

NACSIS-CATとは、オンライン共同分担目録方式により全国規模の総合目録データベース（図書/雑誌）を形成するためのシステムです。

NACSIS-ILLとは、図書館間で行われている相互貸借サービス（文献複写や資料現物の貸借の依頼及び受付）のメッセージのやりとりを電子化したシステムです。

ニュース  

2022/10/12

[NACSIS-CAT/ILL移行にかかるシステム停止および説明会開催について](#)

NACSIS-CAT/ILL  
**Q&A DB**

メニュー画面

利用の手引き]

1. [NACSIS-CAT/ILLへの質問・回答の検索](#)  
※以下, 2, 3, 4の報告時に情報源を同時に送る必要がある場合は、ハードコピーを表書きにし、情報源をメール(またはFAX, 郵便)で
2. [NACSIS-CAT/ILLへの質問の受付](#)
3. [重複・RELATIONデータの報告](#)  
※CAT2020開始(2020年8月3日)以降, 重複データに加えて, 報告しました。
4. [図書書誌レコードの修正報告](#)  
※CAT2020開始(2020年8月3日)以降, レコード調整の廃止  
※雑誌書誌に関する修正報告は, 従来どおり書誌画面と情報源メンテナンス課まで御報告下さい。

ホーム
質問・回答検索
質問受付
重複データ報告の受付
利用の手引き

## メニュー

NACSIS-CAT/ILLへの質問・回答の検索

利用する

NACSIS-CAT/ILL参加館から寄せられた目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)に関する質問とその回答を検索できます。

NACSIS-CAT/ILLへの質問の受付

利用する

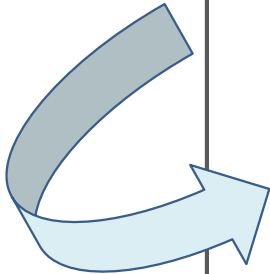
目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)業務利用図書館のための質問の受付ページです。

重複データの報告

利用する

目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)業務利用図書館のための重複の受付ページです。

利用の手引き



システム移行による停止など、ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご質問は、slidoへお寄せください。

